

港区 あきる野環境学習-3

～横沢入&養沢フィッシングランド～

2018年10月30日(火)

全3回の港区、あきる野環境学習の最後の回が、素晴らしい秋晴れの中実施されました。

今回の参加者は3家族で、保育園の4歳児クラスの女の子3名と弟(2歳)、妹(2歳)とお母さんと全部で8名でした。お子さんが全員未就学児というのは担当者2人とも初めてで、どんなことになるかやや不安でした。

開会式での自己紹介、行程説明、安全注意のあと、「横沢入の動物体操」でチョウチョ、カエル、ザリガニ、ヘビ、ムササビになったつもりで体を動かしてもらいました。

自然観察では、ツリフネソウの種はじきとフユイチゴの実、ヤマイモのムカゴの試食が好評でした。2歳の女の子がフユイチゴを気に入ってしまい、ずっと「イチゴ、イチゴ」と実を探す様子が微笑ましかったです。

その後は、講師がタモ網を使って小川に棲む生き物を採り、見ていただきました。ホトケドジョウ、マドジョウ、サワガニ、カワナナ、ヤゴ類、アメリカザリガニなどが観察できました。4歳の女の子もザリガニの掴み方を教えると、自分で上手につかんでいました。

昼食後、バスで養沢フィッシングランドに移動し、子供たちが一番楽しみにしていたニジマスの魚釣りを実施しました。炭火で焼いてもらっている間、子供たちに横沢入にあった葉で「葉っぱのお絵描き」してもらいました。素晴らしい作品ができました。

最初のうちはお母さんの周りで大人しくしていた子供たちも、お昼ご飯のあとには皆で追いかけっこをしたり、歌をうたったり、里山でのびのびと遊んでいました。いい思い出になるといいなと思いました。

【参加人数】8名(大人3名、子供5名)、港区職員1名、旅行社社員1名

【FITスタッフ】高橋喜蔵(主幹事)・小勝眞佐枝(報告)



ムササビになったつもりでビューン



種を飛ばしてごらん



兄弟仲良く



「葉っぱのお絵描き」